

# 生涯学習

学び・ふれあい・心豊かに

生涯学習課 ☎43-3383  
田沢湖公民館 ☎43-1061  
角館公民館 ☎54-1110  
西木公民館 ☎47-3100

## 韓国語教室

韓国ドラマや音楽を中心に、韓国語の勉強をします。また、韓国の文化や習慣についても学びます。初めての方でも大丈夫です。この機会に韓国語を学んでみませんか。



## 公民館講座 受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は各申込期間の平日9時から17時まで最寄りの公民館の窓口か電話でお申し込みください。

- 日時／9月4日、11日、18日、25日、10月2日  
(毎週火曜日5回予定)
- 場所／田沢湖総合開発センター  
18時～19時30分
- 参加料／無料
- 講師／千幸清(チョンジェヨン)氏
- 持ち物／筆記用具
- 対象者／仙北市民(小学生以上)
- 定員／20人(定員になり次第締切)
- 申込期間／8月20日(月)～31日(金)
- 問合せ／田沢湖公民館

## ふるさと教室

ふるさとの歴史や文化などを学びます。今回は鹿角市花輪の文化財である旧関善酒店や、戊辰戦争の中の鹿角」を展示中の先人顕彰館などを探訪します。お早めにお申し込みください。

- 日時／9月12日(水)  
8時20分集合(17時頃帰館予定)
- 集合場所／田沢湖総合開発センター
- 参加料／1670円  
(ガイド付見学料、昼食代)
- 持ち物／雨具、筆記用具など
- 定員／15人(定員になり次第締切)
- 申込期間／8月20日(月)～9月5日(水)
- 問合せ／田沢湖公民館

## 生涯学習活動紹介

### 大曲支援学校せんぼく校・仙北市民公民大学交流事業

平成25年度より続けている、大曲支援学校せんぼく校の中等部・高等部と仙北市民公民大学の交流事業が今年度も6月27日からスタートしました。この事業では、公民大学の園芸学科、書道学科、陶芸学科、樺染めサークルの各講師の先生や学生が、せんぼく校のゲストティーチャーとして招かれ、お互いに交流を深めています。



書道学科との交流の様子。

## 写真撮影会

7月25日、「抱返り溪谷」において、夏の写真撮影会を行いました。朝から日差しが強く、汗のにじむ真夏日でしたが、遊歩道に入るととても涼しく、下に流れる青い水を眺めると、より一層心が洗われるような、とても心地よい気分になりました。

参加した皆さんは、思いおもいの撮影スポットを見つけ、時がたつのも忘れる



コツをつかみシャッターを切る参加者。



涼しげな抱返り溪谷。

くらいシャッターを押ししていました。講師の高橋寛氏(あおば写真)から、アドバイスをもらい、楽しく真剣に写真技術の向上に取り組んでいました。

## 心豊かな教育文化のまち きたうら

《仙北市教育委員会だより》

第82号

### 西明寺小・大曲支援学校せんぼく校の交流

7月10日、西明寺小学校の4年生が大曲支援学校せんぼく校を訪問し、小学部の子どもたちと交流しました。

今回はせんぼく校の子どもたちが進行や案内役などの役割を務めました。せんぼく校の伊藤新さんが「早く仲よくなって一緒に楽しみたい」と歓迎の言葉を述べた後、グループ毎に自己紹介をしました。

次に学校紹介として、せんぼく校の子どもたちが校内を案内し、丁寧に説明してくれました。西明寺小の子どもたちも熱心に話を聞き、教室等を見学して、疑問に思ったことを質問していました。

その後、グループで校内を探検し、協力して課題を解決する「せんぼく校クエスト」も行いました。校内に隠れていることや国旗を探したり、同じポーズで写真を撮ったり、みんなで力を合わせて活動をしているうちに交流が深まってきました。



グループごとに写真を撮ったときのポーズを披露しました。

最後に西明寺小の高橋夢夢さんが「せんぼく校の人と仲よくできてよかった。今度、西明寺小学校に来てもらった時も、楽しく交流できるようにしっかりと計画を立てたい」と感想を述べました。

11月にはせんぼく校の子どもたちを西明寺小学校へ招く予定です。両校の交流がますます深まり、また、子どもたちの明るい笑顔が見られそうです。

## 栄光を讃えて

【秋田県中学校総合体育大会】  
柔道 男子個人66kg級 優勝  
鎌田匠人(角館中3年)※全国・東北大会出場  
バドミントン 男子個人 準優勝  
三浦悠(生保内中3年)※東北大会出場

【県南吹奏楽コンクール】  
剣道 女子個人 第5位  
島山菜月(生保内中3年)※東北大会出場  
金賞 神代中学校 ※県大会出場

### 田沢湖白浜のクリーンアップ

7月11日、生保内小の3年生・5年生、生保内中の1年生、角館中の3年生、大曲支援学校せんぼく校高等部の子どもたちが田沢湖白浜のクリーンアップを行いました。

「鳴砂」だった頃の美しい白浜の復活を目指し、毎年クリーンアップが行われています。今回は子どもたち約210人と引率や担当、地域の方々を合わせ、総勢約250人の大人数での作業となりました。

雨の降りしきる中ででしたが、子どもたちは手を休めることなく、懸命に木くずなどのゴミを拾いました。そのおかげで、多くのゴミがあった白浜が、見違えるほどきれいになりました。

クリーンアップに参加した子どもたちの感想を紹介します。

《生保内小3年 千葉遙太さん》  
「クリーンアップでは、集

中してゴミを拾うことができませんでした。田沢湖は「しんびの湖」と呼ばれているのに、ゴミがあったら「しんび」とはいえないから、「しんび」になるようにがんばりました。いっぱいゴミを拾うことができたので、スッキリしました」

《角館中3年 伊藤桜甫さん》  
「全員ゴミ袋1つ分以上集めて、白浜の環境をよくすることができたと思う。きれいにするためにもしっかりとした心がったが、終了の時間が来て残念だった。貴重な鳴砂のある白浜にするために清掃活動がもっと広まってほしい」

《生保内中1年 高橋瑞香さん》  
雨の中でのクリーンアップはとても大変でした。しかし、友だちと協力してたくさんゴミや木を拾い、白浜をきれいにすることができ、達成感を感じることができました。これから先、たくさんの方が美しい白浜を訪れてくれたらうれしいです。



クリーンアップで出たたくさんのゴミは協力して運びました。



雨に打たれても一心にゴミを拾いました。